

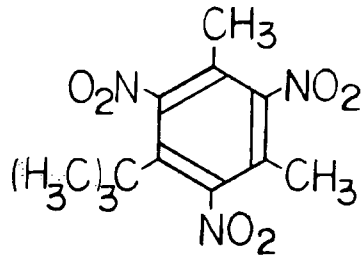
分 解 度 試 験 報 告 書

1. 試 料 名 2,4,6-トリニトロ-5-tert-ブチル-
 1,3-キシレン

(試料 No. K-391)

分子式 $C_{11}H_{12}N_3O_6$ 分子量 297

構造式



同 定 赤外分光光度計 (付図-5 参照)

性 状

外 観 無色結晶

融点(℃) 103~105 (提示資料による)

溶解性

対 水 2 ppm (TOC 計による分析値)

対 有 クロロホルム、ベンゼン、アセトンに 1 %

以上可溶

2. 試験期間 昭和 56 年 4 月 1 日 ~ 昭和 56 年 4 月 30 日

3. 試験方法及び条件

環 保 業 第 5 号
薬 発 第 615 号
49 基 局 第 392 号 } 微生物等による化学物質の分解度試験による

3.1 試験条件

(a) 生分解試験条件

(1) 微 生 物 源 : 標準活性汚泥 30 ppm

(2) 供試物質濃度 : 100 ppm

(3) 試 験 期 間 : 28 日間

(b) 試験装置

閉鎖系酸素消費量測定装置 標準型

(c) 試料の採取

供試物質は固体のため天秤で 30 mg 精秤し 各培養ビ
ンに添加した

(d) BOD 測定装置へのセット状況

	状 況	pH
仕 込 時	試料は溶けずに水面に浮いていた	—
途 中	試料は溶けずに分散していた	—
終 了 時	結晶の残留が認められた	—

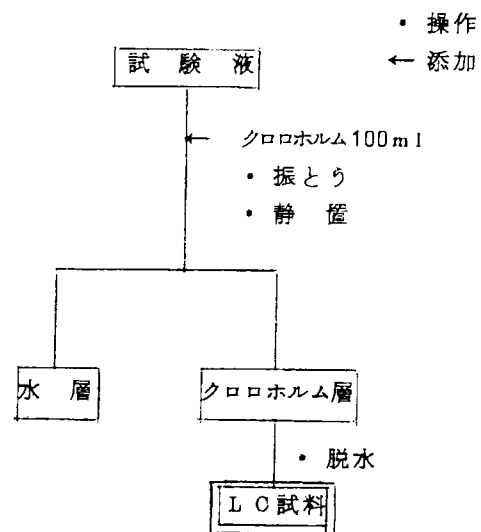
3.2 直接定量分析

(a) 使用分析機器及び条件

高速液体クロマトグラフ

型 式 O B C 組立
 カ ラ ム 7.9mm ϕ × 0.3 m ステンレス
 固 定 相 Shodex GPC A801
 溶 離 液 クロロホルム
 波 長 254 nm
 検 出 器 UV-VIS

(b) 分析試料の前処置



4. 試験結果

	分解度(%)	付 図	付 表
酸素消費量による結果	[3] 6	1	—
	[4] 0		
	[5] 0		
L O による結果	[3] 0	2	1
	[4] 4		
	[5] 1		

7 日目のアニリンの分解度 77 %

以 上

図-1

No.

Date 4/1 ~ 4/29 1981

Test Temp. 25 °C

Model Coulometer No. 202

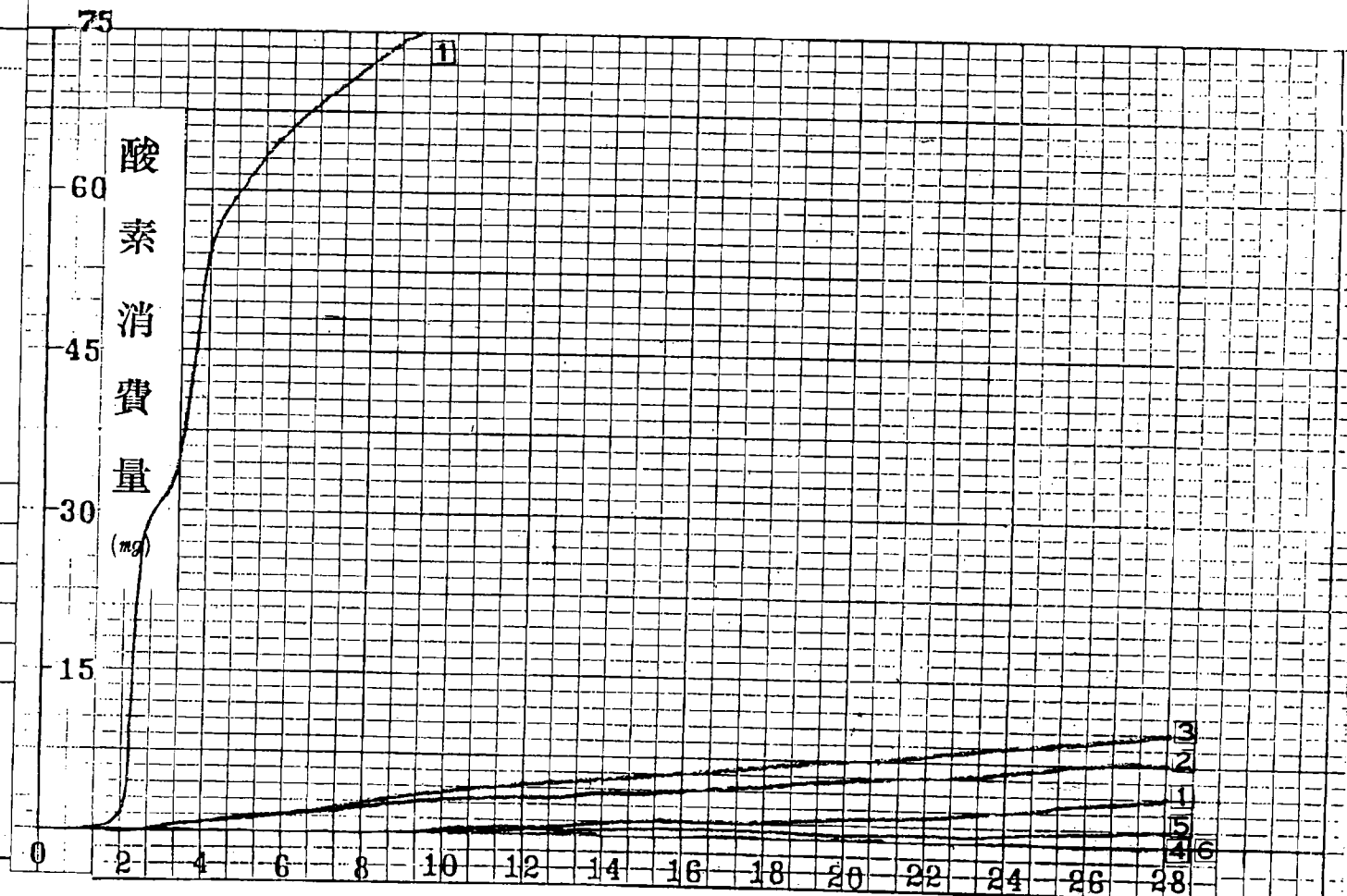
Range 250 ppm × 1

Chart Speed 2 mm/h

Sample	Sludge (ppm)
1 アニリン (100 ppm)	30
2 基礎呼吸 (— ppm)	30
3 汚泥+試料 (100 ppm)	30
4 汚泥+試料 (100 ppm)	30
5 汚泥+試料 (100 ppm)	30
6 水+試料 (100 ppm)	—

Note: K391

Operator XXXXXXXXXX



(財) 化学品検査協会 化学品安全センター

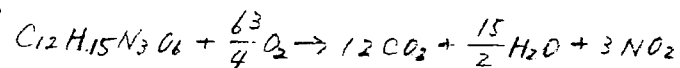
$$\text{[3] 分解度} = \frac{BOD-B}{TOD} \times 100 = \frac{10.8\text{mg} - 7.8\text{mg}}{50.9\text{mg}} \times 100 = 6(\%)$$

$$\text{[4] 分解度} = \frac{BOD-B}{TOD} \times 100 = \frac{0\text{mg} - 7.8\text{mg}}{50.9\text{mg}} \times 100 = 0(\%)$$

$$\text{[5] 分解度} = \frac{BOD-B}{TOD} \times 100 = \frac{1.2\text{mg} - 7.8\text{mg}}{50.9\text{mg}} \times 100 = 0(\%)$$

$$TOD = 30 \times 1.7 = 50.9$$

なお、



$$\frac{\frac{63}{4}O_2}{C_{12}H_{15}N_3O_6} = \frac{504}{297} = 1.7$$

7日目のアニリンの分解度 77 %